

# Weekly Report

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

創立：1980年(昭和55年)1月10日  
会長：松波 恒彦  
幹事：平野 好道  
クラブ委員長：犬塚 達郎  
例会日：毎週木曜日PM12:30～  
会場：ヒルトン名古屋

事務局：460-0008  
名古屋市中区栄1丁目3-3 ヒルトン名古屋910号  
TEL：052-211-3803  
FAX：052-211-2623  
MAIL：2760\_nagoya@mizuho-rc.jp  
URL：http://www.mizuho-rc.jp/



## 第1584回例会

～ロータリー理解推進月間～  
クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2013年1月24日(木) 晴 第28回

司会：堀慎治会場委員長  
斉唱：「我等の生業」  
ビジター：名古屋南RC 近藤禎男さん

### 副会長挨拶

西本哲副会長

こんにちは。本日は中間決算と組織ということで伊藤豪さんと亀井さん、宜しくお願ひします。それではご挨拶をさせていただきます。みなさん、よくご存じの方もいらっしゃるかもしれませんが、日経新聞の土曜日に日経プラスという別の新聞が一緒に入っています。その中には面白い記事がいろいろございます。この前お話ししました「ぼた餅とおはぎがどう違うのか」の様に、色々な物を対比して違いを詳しく解説している記事がございます。その中で自分自身もあまり気が付かなかった事がございます。皆さんも何気なく使っている言葉だと思いますが『なおざり』と『おざなり』、これをどのように使い分けていらっしゃるでしょうか。私も意識なく使っている時がありますが、どのように違うのか掲載されておりました。例えば、ある旅館で宿泊した方が、「あそこの旅館は接客がなおざりで良くない」というような言い方をしたとします。これはどちらの意味でしょうか。適当というニュアンスは両方とも共通ですが、『なおざり』というのはいい加減にしておく事、『おざなり』というのはいい加減に物事を済ませる事、というふうに辞書では定義されています。『なおざり』と『おざなり』はどのように違うのかといいますと、『なおざり』はいい加減ゆえに何もしない事、『おざなり』はいい加減とはいへ一応何かアクションを起こす事ということだそうです。ですから、先程のセリフ「あそこは接客がなおざりだよ」では何もしなかったという意味になります。いろいろな接客はされたけれども、その接客が十分でなかったということを伝えるなら、「あそこの接客はおざなりだね。」というのが正解だそうです。このように、私たちは何も知らずに使い、意味が全く違うという事がたくさんあると思います。しっかりと勉強しながら、言葉を遣っていききたいと思います。もう一つ、蝶と蛾はどのように見分けられますか。この質問には私の会社の社員、家族に尋ねても誰一人答えることができませんでしたが、3歳の孫だけは正解でした。蝶は止まる時に羽根を立てます。蛾は止まった時に羽根を寝かせます。それで、一目瞭然、蝶と蛾というのがわかります。蝶は綺麗で、蛾は綺麗ではない、蛾は鱗粉が多く、蝶は少ない等の見分け方ではなく、羽根が真っ直ぐ立っているか、横に寝ているのかによって、蝶と蛾の見分けがつくそうです。ということで、挨拶にしたいと思います。



### ニコボックス

松井文一郎ニコボックス委員

- ・このたび、2月3日の節分に大須観音節分宝船御乗合で「七福神」の内の「大黒天」のお役を頂戴して豆まきをすることになりました。何と豆は全部で1,800kgまくそうです。お時間がありましたら私の「大黒天」姿を見にお出掛け下さい。栄小公園を1時頃出発して、大須観音での豆まきは3時頃からです。 **増田 盛英さん**
- ・今日1月24日は家内の誕生日です。 **渡辺喜代彦さん**
- ・今晚より国際ロータリー平和フォーラムに岩田修司さんと堀さんで行って参ります。 **松波 恒彦さん**
- ・なかなかゴルフのできない、つらい日々を過ごしています。 **鈴木 淑久さん**

### 幹事報告

平野好道幹事

- ・1月24日(木)13:40よりヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にて第2回クラブ奉仕協議会を行います。
- ・次週1月31日(木)11:00よりヒルトン名古屋9階「つるの間」にて第2回長期ビジョン委員会を行います。
- ・豊橋ゴールデンロータリークラブが例会に9名訪問されます。
- ・13:40よりヒルトン名古屋9階「つるの間」にて豊橋ゴールデンロータリークラブとの懇談会を行います。
- ・13:40よりヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にて新入会委員研修会を行います。

### 出席報告

松井文一郎出席委員

会員64名 出席46名 (出席計算人数49名)

出席率 85.2% 1月17日は補填により 94.4%

### 第3回クラブフォーラム(年次総会) 進行:平野好道幹事

<幹事>本日の第3回クラブフォーラムは中間決算と組織についてです。

#### 中間決算報告について:伊藤豪会計

会計の伊藤でございます。中間決算の報告を致します。平成24年7月1日から12月31日までです。お手元にある資料をご覧ください。実績のみを申し上げますのでよろしくお願い致します。

#### 収入の部

入会金150,000円、会費5,850,000円、例会費9,685,000円、R財団寄付500,000円、米山記念奨学会寄付370,000円、地区大会協力金325,000円、来訪者会費40,000円、広島平和フォーラム19,500円、東日本大震災被災高校生支援195,000円、雑収入1,126円、当期収入合計17,135,626円、前年度繰越収支差額10,042,810円、収入合計27,178,436円でございます。当期の収入の進捗率は51.3%でございます。

## 支出の部 その1

ロータリーの組織関係です。RI関係と致しまして人頭分担金132,740円、規定審議分担金5,040円、小計137,780円です。全国関係はR財団寄付が495,200円、米山記念奨学会寄付370,000円、ロータリーの友購読料88,200円、小計953,400円でございます。地区関係は地区資金315,000円、地区大会協力金315,000円、地区事業費160,650円、ガバナー月信購読料63,000円、地区大会参加義務者負担金780,000円、地区大会晩餐会参加義務者負担金54,000円、社会奉仕市内24RC分担金63,000円、新世代ライラセミナー協力金45,000円、名古屋姉妹都市協会分担金12,500円、地区出向費83,000円、東日本大震災被災高校生支援195,000円、小計2,086,150円です。地区関係の進捗率は64.3%です。ロータリー組織関係のトータル計は3,177,330円で進捗率は74.6%となっています。

## 支出の部 その2

例会費9,019,797円、来訪者会費40,000円、小計9,059,797円です。例会費の進捗率は59.7%です。続きまして委員会活動費です。クラブ奉仕5,000円、出席14,000円、ニコボックス117,600円、職業分類0円、会員増強及び維持49,320円、会員選考0円、クラブ広報578,998円、親睦活動-214,904円、プログラム106,000円、R情報・研修111,702円、会場4,030円、職業奉仕10,000円、社会奉仕・環境保全30,000円、新世代奉仕・ローターアクト16,500円、国際奉仕10,000円、R財団44,000円、米山奨学30,000円、長期ビジョン0円、小計912,246円です。進捗率は24.1%です。親睦活動に関しましては予算が逆にプラスであり、上手に運営していただいているためマイナスという結果になっています。

## 支出の部 その3

管理費は賃借料1,370,800円、人件費2,234,627円、会議費103,500円、通信費156,723円、旅費交通費188,140円、事務消耗品費321,003円、印刷費559,965円、雑費187,700円となっています。ガバナーノミー費と致しまして250,622円、小計5,373,080円です。管理費の進捗率は53.7%です。また予備費0円、当期支出合計は18,522,453円、当期収支差額-1,386,827円、次期繰越収支差額8,655,983円となっています。

## ニコボックス収支計算書

収入は2012年度7月～12月までと雑収入を含めまして合計1,715,639円、前期繰越収支差額8,310,405円、収入合計10,026,044円となっております。支出は豊橋ゴールデンRCへ10,000円、台北延平RC来訪時諸費用452,002円、振込料2件で210円でございます。当期支出合計462,212円、当期収支差額1,253,427円、次期繰越収支差額9,563,832円でございます。

## 貸借対照表

現金91,021円、普通預金2,840,297円、普通預金(米山)1,241円、前払金1,348,450円、貯蔵品285,000円、みずほ普通預金にガバナーとして積み立てているものが4,222,824円、普通預金(ニコボックス)9,563,832円で合計は18,352,665円です。負債の部は未払金75,446円、預り金57,404円、剰余金8,655,983円、剰余金(ニコボックス)9,563,832円で合計18,352,665円です。以上で中間決算の報告を終わります。

## 監査報告:森 恒夫監査

ただいまの決算の監査を1月10日に行いました。その結果、平成24年7月1日から12月31日までの収支、そして平成24年12月31日現在の貸借対照表ともに適正に処理されていると認めましたのでご報告申し上げます。

## 議長:松波 恒彦会長

それではこれまでの会計報告と監査報告につきましてご承認頂けましたら拍手をお願いします。(拍手)ありがとうございました。

## 次年度組織について:亀井直人副幹事

2013-2014年度の役員及び委員会構成案を発表させていただきます。役員理事は前回既に発表されておりますので、本日は委員会構成のみ発表いたします。

## 議長:松波 恒彦会長

ただいま2013-2014年度クラブ役員理事及び委員会構成の案が発表されました。よろしければ拍手でご承認をお願い致します。(拍手)ありがとうございました。

## 国際ロータリーニュース

### 時期リーダーが新しい補助金モデルについて学ぶ

今年7月の未来の夢の全世界導入に備えるため、今年の国際協議会では、ロータリー財団の新しい補助金モデルについての研修と、そのためのリソースに焦点が当てられました。研修を受けたガバナー・エレクトと地区ロータリー財団委員長は、



補助金モデルに関する豊富な知識を携えて各地区に戻り、地区の全ロータリアンが補助金を効果的に活用できるよう支援します。

「未来の夢は、ロータリー財団が、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ・財団などの卓越した人道奉仕団体と並んで、真に傑出した団体となる機会をもたらすものです」と、未来の夢委員会の委員長を務めるルイス・ピセンテ・ジアイRI元会長は話します。「ロータリーの未来を確かなものとするには、堅固で、力強く、まとまりがあり、生き生きとして、競争力と国際性に満ちたロータリー財団、また、社会、ロータリアン、クラブのニーズに応えることのできるロータリー財団が必要です」

補助金の数が3種類にまとめられた一方で、要件の数が以前よりも少ないなど、新補助金モデルの利点を紹介したジアイ委員長は、新しい地区委員会構成の下で新地区補助金を活用することで、クラブと地区が地元や海外のニーズに柔軟に対応できると説明しました。また、グローバル補助金では、活動の焦点を6つの重点分野に絞ることで、プロジェクトの影響と持続可能性がさらに高まる点を強調しました。

ポリオ撲滅活動でのロータリーのリーダーシップにも触れ、戦略パートナーとの協力を通じて長期的な影響をもたらすことができるという教訓が、未来の夢のパッケージ・グラントに活かされていることを、ジアイ委員長は指摘しました。パッケージ・グラントでは、ロータリーのWF(国際財団活動資金)と戦略パートナーが全額支援する活動に、ロータリアンが参加することができます。



## ブランドの焦点を絞る

ウィリアム B. ポイドRI元会長が講演し、ロータリーのブランド強化の取り組みについて紹介しました。コンサルティング会社、Siegel+Gale社がロータリーに対する認識について大規模な調査を行ったところ、ロータリアンと一般の人々の間に大きなギャップがあることが分かり、この課題への取り組みがブランドの強化であると、ポイド元会長は説明しました。

「ロータリアン以外の人々へのコミュニケーションは非常に重要です。一般の人々に、ロータリーが何をやる団体なのか、他団体とどう違うのかを知ってもらわなければならない。そうして初めて、入会を勧めることができます」と述べるポイド元会長は、この取り組みがブランドの改造や新しいブランドの創造ではなく、今あるブランドの「焦点を絞る」ことを目的としたものであると述べました。「ブランドとは、ロータリーとは何か、ロータリーとは何をやる団体か、ロータリーはなぜ大切なのかを、明確に説明するものです」とポイド元会長。ロータリーのブランドについてメッセージを広げ、ロータリーが地元や世界で行っている活動についてロータリアン以外の人々に説明するよう、次期リーダーに呼びかけました。

## 財団の目標

ロータリー財団の李東建管理委員長エレクトも講演し、2013-14年度の財団目標について説明しました。ポリオ撲滅、未来の夢補助金モデルの立ち上げ、革新的なプロジェクトへのロータリアンの参加、他団体とのパートナーシップ、ロータリー財団が自分たちの財団であるという自覚と誇りを築くことなどを、目標として紹介しました。

「ロータリーでは、すべての仕事に意義があり、大切なものです。しかし次年度には、ここにいる皆さまこそが、2013-14年度だけでなくその先の将来に、ロータリーの成功を決定づける重要な役割を果たされます。これは大きな責任です。このチャレンジに、皆さまが立ち向かってくださるものと信じております」

## RIからの支援

ジョン・ヒューコRI事務総長は、継続、戦略計画、持続可能性の重要性について講演しました。「すべてのロータリアン、そしてロータリーのすべてのリーダーは、長い鎖のつなぎ目となる存在です。ロータリーの成功は、私たちの個人的な力だけで測られるものではなく、私たちが過去の成果をいかに未来につなげていけるかによって測られます」

継続性を図るために、昨年7月に立ち上げられたオンラインのツール「ロータリークラブ・セントラル」を活用することを、事務総長はガバナー・エレクトに呼びかけました。このツールで、地区とクラブは、過去数年間の目標とその達成状況を見ながら、今後の計画と戦略に立てることが出来ます。「ロータリークラブ・セントラル」は会員アクセスにログインして開くことができます。

さらに事務総長は、持続可能性の意味と重要性について説明しました。「ニーズに短期的に因應するための援助は、長期にわたってそのニーズを満たし続けていく投資と比べると、リソースの効果的な活用とは言えません」

ロータリーの推進と確かな未来を築くため、インターネットとソーシャルメディアの活用が重要であると述べる事務総長。今月立ち上げられたロータリー補助金のサイトについても紹介し、RIウェブサイトの再構築が進行中であることを伝えました。

## ポリオ撲滅にはロータリーのリーダーシップが必要

米国サンディエゴにて2013年ロータリー国際協議会が開催さ

れる中、世界保健機関(WHO)でポリオ関連の副責任者を務めるブルース・アイルワード氏が講演しました。インドのポリオ無発生を例にとっても、世界で最も困難な保健問題に取り組むロータリーの力が実証されていると述べ、ロータリーの貢献を称えると同時に、この仕事を完遂するには、引き続きロータリーのリーダーシップが不可欠であることを強調しました。



協議会に出席したガバナー・エレクトの前に、アイルワード氏は世界のポリオ最新情報を説明し、また最近パキスタンで発生した予防接種従事者の襲撃事件にも触れました。WHOはボランティアや保健従事者の安全を確保するため、イスラム教社会から広く協力を得られるよう努力しています。「ポリオ撲滅活動は、これまでもさまざまな困難に直面してきましたが、方策や態勢を変えて難所を乗り越えてきたように、パキスタンでも引き続き、活動を続けていきます」

WHO、ユニセフ、米国疾病対策センターとともにロータリーが協力する世界ポリオ撲滅推進計画(GPEI)において、アイルワード氏は、インドで2年間、ポリオが無発生であることを説明しました。「インドではポリオ撲滅は無理」という専門家たちの予想を覆し、インドは昨年2月、ポリオ常在国リストから除外されました。今年1月13日まで、ポリオ検査で陽性の結果が出ない限り、インドで野生型ポリオウイルスの感染が抑止されたことがWHOによって正式に宣言されます。

残るポリオ常在国は、アフガニスタン、ナイジェリア、パキスタンの3カ国です。現在ポリオが発生していない国でも、ウイルス流入の危険性があるため、全世界でポリオを撲滅するには、全地域で予防接種を続ける必要があります。

GPEIにおけるロータリーの主な役割の一つがアドボカシー活動(政府や民間への働きかけ)ですが、ポリオ撲滅の実現が近づいている今、この働きかけが大変重要なものとなっています。ロータリーは1985年以来、ポリオ撲滅のために10億米ドル以上を寄付してきました。これに加え、ドナー国から90億ドル以上を確保する上でもロータリーが貢献してきました。今年、GPEIは7億ドルの資金不足に直面しており、目標を達成するにはアドボカシー活動が必要不可欠です。

ポリオ撲滅は私たちの手の届くところにあり、ロータリアンの協力が欠かせない、とアイルワード氏は訴えます。「ロータリーはこの疾病を撲滅するという歴史的な機会を与えてくれました。ロータリーのリーダーシップがあってこそ、撲滅を実現させることができます」

## 例会のご案内

### ■今週の卓話 1月31日(木)

卓話講師：ぎふ美濃ゴルフ倶楽部所属プロ  
山内拓也さん

テ－マ：アジアツアー日記&ゴルフ理論感覚と現実の差

### ■次週の卓話 2月7日(木)

会員卓話：松井文一郎さん

テ－マ：新入会員イニシエーションスピーチ

### ■次々週行事 2月14日(木) 4RC合同例会

時 間：18:00～20:00

場 所：ヒルトン名古屋5階「扇の間」

2013～2014年度クラブ役員理事及び委員会構成表

会 長	泉 憲一	役 員	ク ラ ブ 奉 仕 委 員 長	加 納 裕	理 事
副 会 長	長瀬憲八郎	役 員	職 業 奉 仕 委 員 長	伊 藤 豪	理 事
会 長 エ レ ク ト	岩 田 修 司	役 員	社 会 奉 仕 委 員 長	八 木 沢 幹 夫	理 事
直 前 会 長	松 波 恒 彦	役 員	国 際 奉 仕 委 員 長	近 藤 茂 弘	理 事
幹 事	亀 井 直 人	役 員	新 世 代 奉 仕 委 員 長	市 岡 正 蔵	理 事
会 計	馬 場 將 嘉	役 員	会 員 増 強 及 び 維 持 委 員 長	平 野 好 道	理 事
S ・ A ・ A	高 須 洋 志	役 員	親 睦 活 動 委 員 長	大 嶽 達 郎	理 事
副 幹 事	堀 慎 治		R 情 報 ・ 研 修 委 員 長	天 野 正 明	理 事
			会 場 委 員 長	梅 村 昌 孝	理 事
			R 財 団 委 員 長	岩 田 修 司	理 事
			長 期 ビ ジ ョ ン 委 員 長	本 多 清 治	理 事
			ガ バ ナ ー 連 絡 委 員 長	増 田 盛 英	理 事
			無 任 所	近 藤 雄 亮	理 事

奉 仕 区 分	委 員 会 名	委 員 長	副 委 員 長	委 員
ク ラ ブ 奉 仕	ク ラ ブ 奉 仕	加 納 裕	大 嶽 達 郎	高 木 元 明 平 野 好 道 山 口 哲 司 鈴 木 淑 久 天 野 正 明 梅 村 昌 孝
	出 席 ニコボックス	高 木 元 明	山 本 英 雄	野 崎 洋 二 渡 辺 喜 代 彦 関 谷 俊 征 広 瀬 弘 幸
	会 員 増 強 及 び 維 持	平 野 好 道①	馬 場 將 嘉②	本 多 清 治③ 森 恒 夫④ 遠 山 堯 郎② 加 納 裕③
	会 員 選 考			
	職 業 分 類			
	ク ラ ブ 広 報	山 口 哲 司	湯 澤 勇 生	落 合 諭 長 坂 邦 雄 平 野 好 道
	親 睦 活 動	大 嶽 達 郎	湯 澤 信 雄	神 田 広 一 川 本 昌 市 松 井 文 一 郎
	(国内友好小委員会選任)		鈴 木 健 司	松 波 恒 彦 平 野 好 道 堀 慎 治
	プ ロ グ ラ ム	鈴 木 淑 久	松 井 善 則	江 口 金 満 越 原 一 郎
	R 情 報 ・ 研 修	天 野 正 明②	岡 村 達 人③	高 須 洋 志④ 長 瀬 憲 八 郎② 平 野 哲 始 郎①
会 場	梅 村 昌 孝	関 谷 俊 征	稲 垣 豊 宗 宮 信 賢 鶴 田 浩 広 瀬 弘 幸	
職 業 奉 仕	職 業 奉 仕	伊 藤 豪	吉 木 洋 二	高 村 博 三 岩 本 成 郎
社 会 奉 仕	社 会 奉 仕 環 境 保 全	八 木 沢 幹 夫	田 中 隆 義	岩 田 吉 廣 大 川 嘉 成 稲 葉 徹
新 世 代 奉 仕	新 世 代 奉 仕 ロ ー タ ー ア ク ト	市 岡 正 蔵	田 中 英 雄	山 田 鎮 浩 佐 藤 善 乙 松 波 恒 彦 西 本 哲
国 際 奉 仕	国 際 奉 仕	近 藤 茂 弘	鶴 田 浩	渡 辺 喜 代 彦 鈴 木 淑 久
	R 財 団	岩 田 修 司	西 本 哲	嶺 木 一 夫 増 田 盛 英 加 納 裕
	米 山 奨 学	高 木 勝	田 中 政 雄	大 島 浩 嗣 遠 山 堯 郎
	長 期 ビ ジ ョ ン	本 多 清 治	鈴 木 圓 三	小 串 和 夫 高 須 洋 志 岩 田 修 司 内 田 久 利
	ガ バ ナ ー 連 絡	増 田 盛 英	長 瀬 憲 八 郎	

第2760地区 出 向 者	近 藤 雄 亮②(被災高校生支援カウンセラー、青少年交換)①(危機管理カウンセラー、地区諮問、地区大会企画) 増 田 盛 英①(ロータリー財団副委員長)、天 野 正 明④(研修)、平 野 好 道②(広報)、稲 葉 徹②(環境保全) 遠 山 堯 郎①(米山奨学)、加 納 裕①(ポリオ・プラス小)、高 須 洋 志①(地区大会企画)
------------------	--

○内の数字は委員就任年数